

◆ 日本学会議会長賞

大規模トキシコゲノミクスデータベースを活用した新規安全性バイオマーカーの開発

受賞者

● 受賞理由

大野 泰雄

国立医薬品食品衛生研究所 副所長

漆谷 徹郎

独立行政法人医薬基盤研究所 プロジェクトリーダー
同志社女子大学薬学部 教授

トキシコゲノミクス・インフォマティクス プロジェクト参加製薬企業13社



新規安全性バイオマーカーの開発

トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクトでは、国立研究施設及び参加企業13社が連携し、これまでに構築した大規模かつ良質な世界トップレベルのトキシコゲノミクスデータベースにインフォマティクス技術を活用することにより、これまでに安全性バイオマーカー候補36個の抽出を完了し、ヒトでの安全性予測・診断への応用可能なバイオマーカーをここから複数特定している。

開発した安全性バイオマーカーは、より安全性の高い医薬品の開発、及び医薬品研究開発の期間短縮・コスト削減に貢献すると考えられる。

本事例は、参加企業、研究施設が組織の壁を取り払って強固な連携体制を構築した産学官連携の好事例であり、表彰に値する。